

JGCA

**国土交通省の地盤情報をインターネットで試験提供
～「国土地盤情報検索サイト」(KuniJiban)の開設～**

国土交通省では、地盤情報をインターネット上で検索・閲覧することができる、「国土地盤情報検索サイト」(KuniJiban)を平成20年3月28日に開設しました。本サイトでは、国土交通省の道路・河川事業等の地質・土質調査成果であるボーリング柱状図や土質試験結果を検索や閲覧することができます。これらの地盤情報を広く一般に提供することにより、国や自治体間における社会資本整備の効率化のほか、環境保全や災害対策等に役立つことが期待されます。

3月28日から試験提供したのは、関東地方整備局と九州地方整備局管内の約2万7千本のボーリング柱状図と土質試験結果一覧表です。来年度以降に他の地方整備局でも順次公開する予定です。ご利用にあたっては下記ホームページにアクセスしてください。

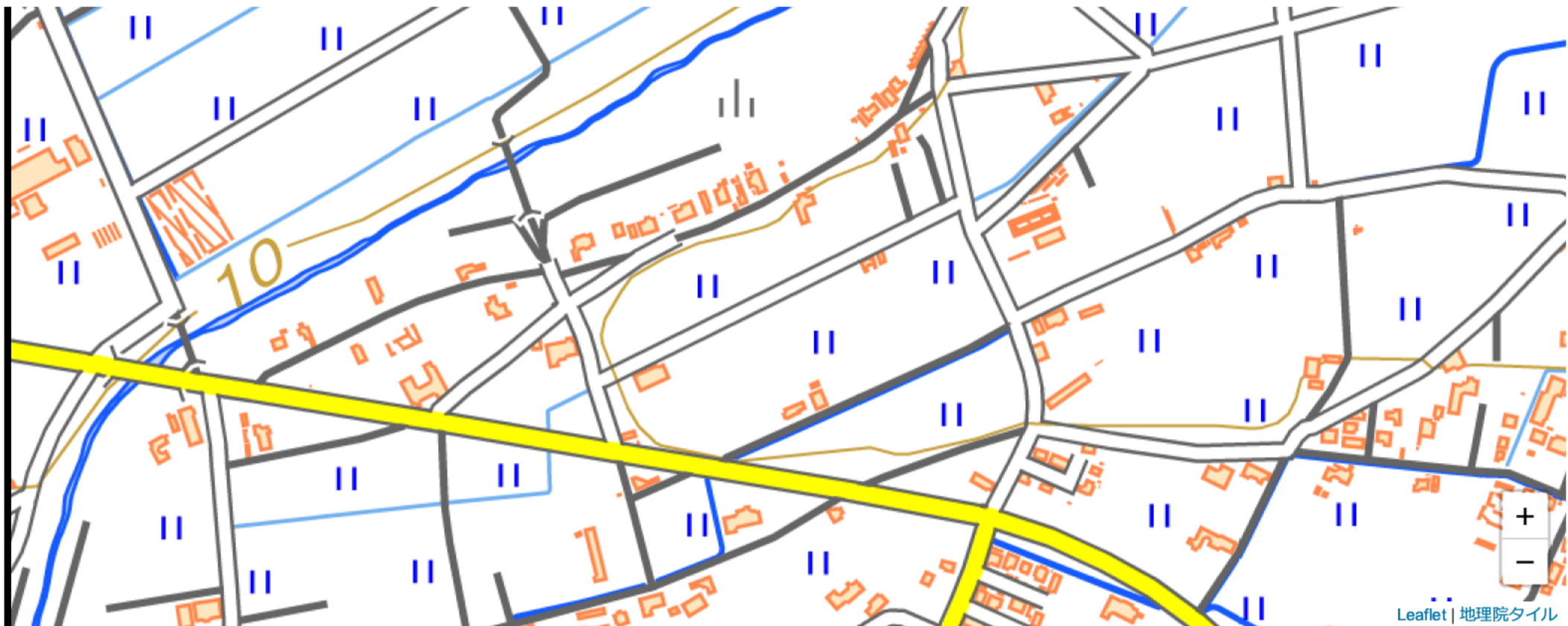
「国土地盤情報検索サイト」(KuniJiban) <http://www.kunijiban.pwri.go.jp>

本サイトは「地盤情報の集積および利活用に関する検討会」において昨年度末取りまとめられ、国土交通省 CALS/ECアクションプログラム「地盤情報の高度な利活用に向けて」及び「国土交通分野イノベーション推進大綱(平成19年5月)」に位置づけられている国土地盤情報検索サイト(2005)を受け、国土交通地理空間情報プラットフォームの一環として電子国土Webシステムを利用して無償で公開するもので、4月以降は国土地理院から公開される基盤地図情報が背景地図の一部として使用されます。

 Home

ボーリングID	B4KJ201802002-2409
旧ボーリングID	SK068830402000070003
事業工事項	
調査名	平成18年度 高原漏水対策設計業務委託
ボーリング名	R19k0001
発注機関	国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所
北緯	34度05分28.00秒
東経	134度24分52.00秒
孔口標高	17.73 m
総掘進長	24.5 m
孔内水位	-13.44 m
ボーリングデータ	XML 柱状図
土質試験結果	
検定番号	

・13



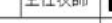
ボーリング柱状図

調 査 名 平成18年度 高原漏水対策設計業務委託

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	R19k0001			調査位置						北緯	34° 05' 28.0000"				
発注機関	国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所					調査期間	平成18年06月08日 ～ 平成18年06月15日				東経	134° 24' 52.0000"			
調査業者名			主任技師				現場代理人			コア鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	17.73 m		方 向		地盤 公配		使用 機種	試錐機	東邦 D-1		ハンマー 落下用具				
総掘進長	24.50 m							度	度	エンジン	ヤンマーNFD12		ポンプ	東邦BG-3	

標尺	層高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層・岩体区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 試験名 および結果	試験採取		室内試験	掘進 月日			
												深度	10cmごとの 打撃回数			N 値		深度 (m)	試験 番号			採取 方法		
													0	10	20									
(m)	(m)	(m)	(m)																					
1						暗褐色			全体的に不均質である。 φ10~40mm前後の亜円礫主体。 所々φ100mm程度の土石混入。 礫間はシルト混じり粗砂からなる。			2.15	02	07	03	07	7	2.15	D-1	○	校度			
2												2.46	02	07	03	11		31	2.46	D-1	○			校度
3	14.53	3.20	3.20									3.15	02	02	02	06		31	3.15	D-2	○			比重
4						暗褐色			全体的に不均質である。 φ10~30mm程度の亜円礫主体。 φ70mm程度の土石混入。 礫間はシルト質細砂からなる。			3.46	02	02	02	06	6	3.46	D-2	○	比重			
5	12.93	1.60	4.80									4.15	02	14	14	31		31	4.15	D-3	○			比重
6												4.45							4.45	D-3	○			比重
7						暗灰			全体的に不均質である。 礫間は粗砂主体。 φ10~30mm前後の亜円礫主体でφ100mm程度の土石混入。 全体的に細粒分は少量であるが、部分的には塊状にある。 全体的に砂分の割合が高い。			5.15	05	03	03	11	10	5.15	D-4	○	校度			
8												5.46	11	03	12	33		5.46	D-4	○	校度			
9												6.15	04	06	03	12		31	6.15	D-5	○			校度
10	7.73	5.20	10.00			暗灰			φ20~30mm程度の亜円礫主体。 礫間は中砂~粗砂主体。 全体的に細粒分は少ない。			6.46	04	11	03	12	12	6.46	D-5	○	校度		06.08	
11												7.15	06	04	13	31		7.15	D-6	○	校度			
12	5.63	2.10	12.10									7.46						7.46	D-6	○	校度			
13	4.83	0.70	12.80			暗褐色			砂の混入が多く、不均質。 下層部に亜円礫混入が多くなる。			8.15	04	03	04	11	10	8.15	D-7	○	校度			
14												8.47	11	09	12	32		8.47	D-7	○	校度			
15												9.15	03	04	04	11		11	9.15	D-8	○			校度
16						暗褐色			φ10~20mm程度の亜円礫主体。 礫間は中砂~粗砂主体。 φ15.0m付近、粗砂主体で礫分多くなる。細粒分は少ない。 φ18.35m付近、砂分多い。 φ18.80~18.90mの間、粘性土。 φ19.00~19.40mの間、5cm程度のシルト状に見られる。 φ20mm前後の亜円礫主体。全体的に少量のシルト混じる。 φ21.0m付近、φ20mm前後の円礫主体。 全体的に少量のシルト(褐色)混じる。 粗砂多い。			9.45	03	11	09	11	11	9.45	D-8	○	校度		06.09	
17												10.15	04	11	03	12		31	10.15	D-9	○			校度
18												10.46						10.46	D-9	○	校度			
19						暗褐色			φ10~20mm程度の亜円礫主体。 礫間は中砂~粗砂主体。 φ15.0m付近、粗砂主体で礫分多くなる。細粒分は少ない。 φ18.35m付近、砂分多い。 φ18.80~18.90mの間、粘性土。 φ19.00~19.40mの間、5cm程度のシルト状に見られる。 φ20mm前後の亜円礫主体。全体的に少量のシルト混じる。 φ21.0m付近、φ20mm前後の円礫主体。 全体的に少量のシルト(褐色)混じる。 粗砂多い。			11.15	05	06	05	15	15	11.15	D-10	○	校度		06.10	
20												11.45						11.45	D-10	○	校度			
21												12.15	02	11	02	02		06	12.15	D-11	○			比重
22						暗褐色			φ10~20mm程度の亜円礫主体。 礫間は中砂~粗砂主体。 φ15.0m付近、粗砂主体で礫分多くなる。細粒分は少ない。 φ18.35m付近、砂分多い。 φ18.80~18.90mの間、粘性土。 φ19.00~19.40mの間、5cm程度のシルト状に見られる。 φ20mm前後の亜円礫主体。全体的に少量のシルト混じる。 φ21.0m付近、φ20mm前後の円礫主体。 全体的に少量のシルト(褐色)混じる。 粗砂多い。			12.46					6	12.46	D-11	○	比重		06.12	
23												13.15	03	04	04	11		31	13.15	D-12	○			校度
24												13.46						13.46	D-12	○	校度			
25						暗褐色			φ10~20mm程度の亜円礫主体。 礫間は中砂~粗砂主体。 φ15.0m付近、粗砂主体で礫分多くなる。細粒分は少ない。 φ18.35m付近、砂分多い。 φ18.80~18.90mの間、粘性土。 φ19.00~19.40mの間、5cm程度のシルト状に見られる。 φ20mm前後の亜円礫主体。全体的に少量のシルト混じる。 φ21.0m付近、φ20mm前後の円礫主体。 全体的に少量のシルト(褐色)混じる。 粗砂多い。			14.15	03	04	03	10	10	14.15	D-13	○	校度		06.12	
26												14.45						14.45	D-13	○	校度			
27												15.15	09	09	12	30		15.15	D-14	○	校度			
28						暗褐色			φ10~20mm程度の亜円礫主体。 礫間は中砂~粗砂主体。 φ15.0m付近、粗砂主体で礫分多くなる。細粒分は少ない。 φ18.35m付近、砂分多い。 φ18.80~18.90mの間、粘性土。 φ19.00~19.40mの間、5cm程度のシルト状に見られる。 φ20mm前後の亜円礫主体。全体的に少量のシルト混じる。 φ21.0m付近、φ20mm前後の円礫主体。 全体的に少量のシルト(褐色)混じる。 粗砂多い。			15.46	06	06	06	18	18	15.46	D-15	○	校度		06.12	
29												16.15						16.15	D-15	○	校度			
30												16.45						16.45	D-15	○	校度			
31						暗褐色			φ10~20mm程度の亜円礫主体。 礫間は中砂~粗砂主体。 φ15.0m付近、粗砂主体で礫分多くなる。細粒分は少ない。 φ18.35m付近、砂分多い。 φ18.80~18.90mの間、粘性土。 φ19.00~19.40mの間、5cm程度のシルト状に見られる。 φ20mm前後の亜円礫主体。全体的に少量のシルト混じる。 φ21.0m付近、φ20mm前後の円礫主体。 全体的に少量のシルト(褐色)混じる。 粗砂多い。			17.15	09	09	06	24	24	17.15	D-16	○	校度		06.12	
32												17.45						17.45	D-16	○	校度			
33												18.15	04	11	03	13		31	18.15	D-17	○			校度
34						暗褐色			φ10~20mm程度の亜円礫主体。 礫間は中砂~粗砂主体。 φ15.0m付近、粗砂主体で礫分多くなる。細粒分は少ない。 φ18.35m付近、砂分多い。 φ18.80~18.90mの間、粘性土。 φ19.00~19.40mの間、5cm程度のシルト状に見られる。 φ20mm前後の亜円礫主体。全体的に少量のシルト混じる。 φ21.0m付近、φ20mm前後の円礫主体。 全体的に少量のシルト(褐色)混じる。 粗砂多い。			18.46					13	18.46	D-18	○	校度		06.12	
35												19.15	01	01	03	05		32	19.15	D-19	○			校度
36												19.47						19.47	D-19	○	校度			
37						暗褐色			φ10~20mm程度の亜円礫主体。 礫間は中砂~粗砂主体。 φ15.0m付近、粗砂主体で礫分多くなる。細粒分は少ない。 φ18.35m付近、砂分多い。 φ18.80~18.90mの間、粘性土。 φ19.00~19.40mの間、5cm程度のシルト状に見られる。 φ20mm前後の亜円礫主体。全体的に少量のシルト混じる。 φ21.0m付近、φ20mm前後の円礫主体。 全体的に少量のシルト(褐色)混じる。 粗砂多い。			20.15	06	06	09	25	25	20.15	D-20	○	校度		06.12	
38												20.45						20.45	D-20	○	校度			
39												21.15	08	08	12	28		21.15	D-21	○	校度			
40						暗褐色			φ10~20mm程度の亜円礫主体。 礫間は中砂~粗砂主体。 φ15.0m付近、粗砂主体で礫分多くなる。細粒分は少ない。 φ18.35m付近、砂分多い。 φ18.80~18.90mの間、粘性土。 φ19.00~19.40mの間、5cm程度のシルト状に見られる。 φ20mm前後の亜円礫主体。全体的に少量のシルト混じる。 φ21.0m付近、φ20mm前後の円礫主体。 全体的に少量のシルト(褐色)混じる。 粗砂多い。			21.45					28	21.45	D-22	○	校度		06.12	
41												21.45						21.45	D-22	○	校度			
42												21.45						21.45	D-22	○	校度			

23	5.27	10.20	23.00	砂礫 (GS)	揚灰	φ10~20mm程度の亜円礫主体。 隙間は中砂~粗砂主体。 GL-15.0m付近、粗砂主体で礫分多くなる。細粒分若干混入。 GL-18.35m付近、砂分多い。 GL-18.80~18.90mの間、粘性土。 GL-19.00~19.40mの間、5cm程度のシルト状に見られる。 φ20mm前後の亜円礫主体。全体的に少量のシルト混じる。 GL-21.0m付近、φ20mm前後の円礫主体。 全体的に少量のシルト(褐色)混じる。粗砂多い。	<table border="1"> <tr> <td>22.15</td> <td>10</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>13</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>22.45</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>23.15</td> <td>02</td> <td>04</td> </tr> <tr> <td>23.45</td> <td>09</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>24.15</td> <td>03</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>24.45</td> <td>11</td> <td>03</td> </tr> </table>	22.15	10	31	14	13	11	22.45			23.15	02	04	23.45	09	11	24.15	03	10	24.45	11	03		<table border="1"> <tr> <td>22.15</td> <td>D-16</td> <td>粒度</td> </tr> <tr> <td>22.45</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>23.15</td> <td>D-17</td> <td>比重</td> </tr> <tr> <td>23.45</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>24.15</td> <td>D-18</td> <td>比重</td> </tr> <tr> <td>24.45</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	22.15	D-16	粒度	22.45			23.15	D-17	比重	23.45			24.15	D-18	比重	24.45			06/13 06/14
22.15	10	31																																															
14	13	11																																															
22.45																																																	
23.15	02	04																																															
23.45	09	11																																															
24.15	03	10																																															
24.45	11	03																																															
22.15	D-16	粒度																																															
22.45																																																	
23.15	D-17	比重																																															
23.45																																																	
24.15	D-18	比重																																															
24.45																																																	
24	6.27	1.50	24.50	粘土質シルト (MC)		比較的均質である。 含水量は全々少なく粘性度は弱い。																																											